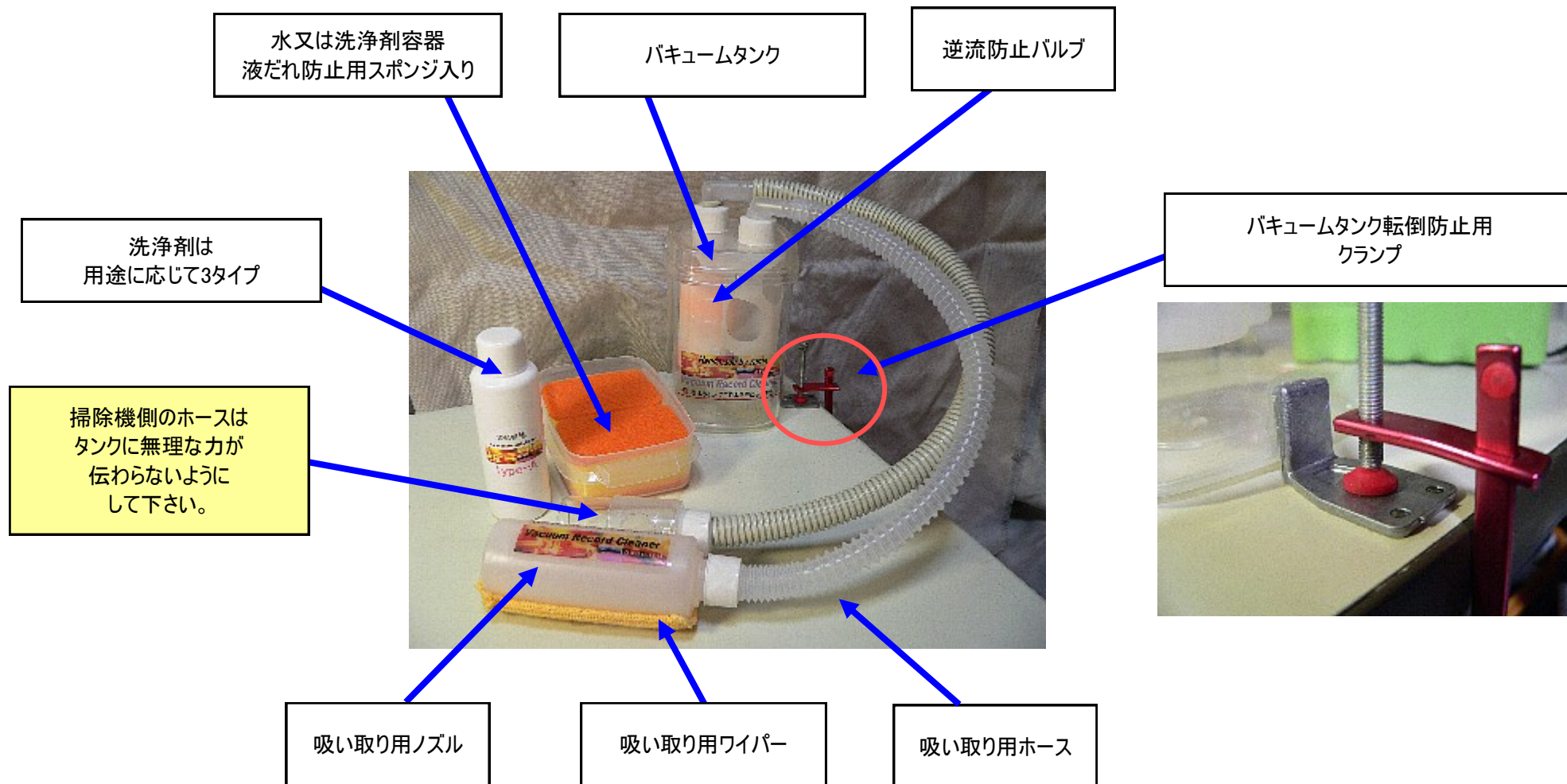
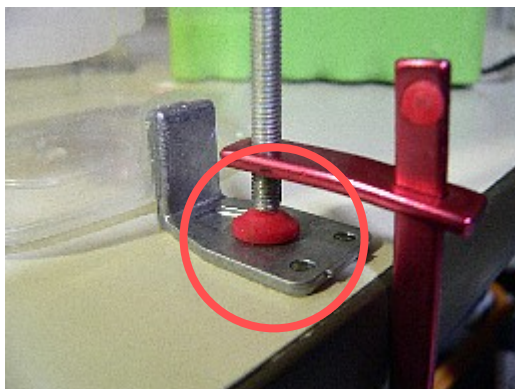


LPレコードクリーナーVC-9000各部の名称(2011年モデル)



1



タンクを軽く固定して接続。

タンクのL金具をクランプで軽く作業台に固定します。タンクの転倒防止のため軽く止めてください。その後、掃除機と接続します。

2



水を入れます。

たっぷり水を入れますが、スポンジの上までは入れないでください。1度に10枚以上をクリーニングする場合は洗浄剤を数滴入れて置きます。洗浄剤の適量はレコードに塗った時に水が弾かれないのが適量です。10枚以下のクリーニングでは水だけ入れて置きます。

3



水又は洗浄剤を塗ります。

ノズルをスポンジに乗せて布に水又は洗浄剤を浸みこませてレコードに軽く載せてからレコードを左回転させながら塗ってください。通常1~3回転します。

4



洗浄剤を垂らします。

盤面が水で十分濡れたら洗浄液を1~3滴ほど垂らします。汚れが少ない時と多い時では垂らす量を調整します。この方法は、手間はかかりますが洗浄剤の無駄が少なく出来ますのでA面をクリーニングして視聴、それからB面とゆっくりした作業に向きます。

5



ブラッシングして吸い取り。

レコードを左回転しながら吸い取ります。レコードが吸い付く又は水の吸い取りが弱い場合は吸引力を調整します。※レコード盤面は適正な吸い取りでも薄っすらと濡れた状態になります。

6



ドライヤーで乾燥。

冬場など気温が低い時は盤面の乾燥に時間がかかります。素早く乾燥させる方法としてドライヤーをセットして置くと、いつでも簡単に乾燥が素早く出来ます。

1



ワイパーが汚れたら。

布を外しての清掃は、あとで布の取り付けが面倒ですから、布は付けたままで清掃します。歯ブラシに石けんを付けてブラッシングすると汚れは落ちます。

2



盤面にホコリや汚れが多い。

見るからに埃だらけのレコードにノズルで直接洗浄剤を塗ると洗浄剤やノズルが汚れます。パキュームする前にキレイなタオルなどに洗浄剤を含ませて前もって軽く拭き取ります。予洗とも言います。

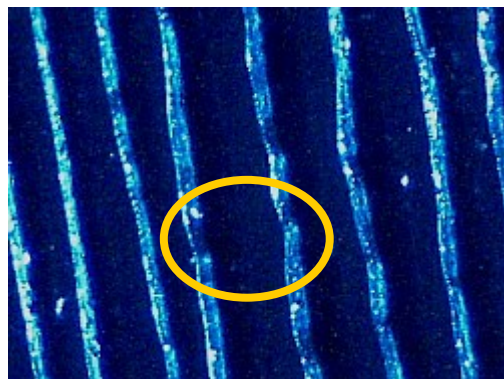
3



濯ぎをする。

盤面に洗浄剤を残したくない時は濯ぎをします。真水をスポンジに吸わせて、さらにノズルに吸わせることで液だれがなく濯ぎが出来ます。濯ぎの水は常にきれいなものを使って下さい。※濯ぎを十分した場合は音質が硬くなる傾向があります。

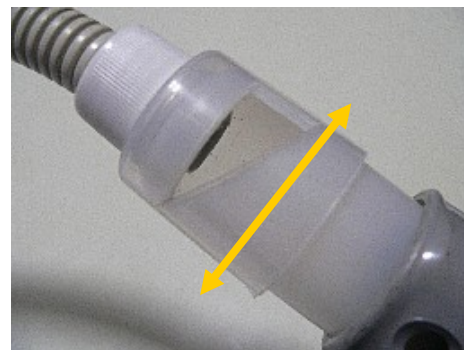
4



ノイズが消えない。

盤面の汚れを100%除去してもノイズが消えない時があります。これは傷の可能性がありますが、この場合はノイズを消すことはできませんが使用する洗浄剤によってはノイズを減少させることができます。

5



1回だけ吸引力を調整。

調整バルブを開閉して吸引力を調整します。掃除機によっては自動吸引力調整機能が働く場合があります。

6



廃液は早めに捨てます。

一定以上の水がタンクに溜まると掃除機に水が行かないように自動で吸引がストップします。これは安全装置ですから掃除機に負担をかけますから通常は作動する前に早めに廃液は捨ててください。タンクの底には砂など重い物が沈殿します。

1



洗浄剤は使わけを。

洗浄剤は汚れを落とすこと以外に音の質を変えます。主に音が硬いか柔らかいかの現象が出ます。またはレコードの傷で発生するノイズが減少したり増加したりします。この点での使い分けも出来ます。

2



洗浄剤は薄めに使います。

洗浄剤は出来るだけ薄めの状態で使います。これは濃いと濯ぎに手間がかかりますので、薄めで洗浄の繰り返しの効果的です。1度に10枚以下の洗浄は次の点滴方式をお勧めします。

3



片面1滴、両面で2滴が基本。

盤面に十分に水を塗ったら洗浄剤を1滴垂らしてレコードを回しながら十分にブラッシングします。洗浄剤が盤面全体に行き渡ると水がはじかれなくなります。汚れが多い場合は数滴使って下さい。

4



洗浄剤塗布用ワイパー。

洗浄剤の塗布用と吸い取りと用にそれぞれワイパーを用意すると、作業効率が大幅にアップします。レコードショップや多量のコレクションを洗浄する方にお勧めします。

5



ワイパーでホコリ取り。

日々のレコードの手入れで困るのが盤面につくホコリやゴミです。通常はベルベットなどで拭きますがどうしても筋に残りスッキリ取れません。そこで乾いたワイパーで吸い取ると簡単になります。盤面には軽く触れる程度で吸い取って下さい。

6



ムラなく吸い取り。

ワイパーの構造が水をムラなく吸い取りますが、布の劣化で吸い取りにムラが出る事があります。ムラがあると乾燥に時間がかかりますが、洗浄では問題なく使えます。当初のソフト感が無くなった時は交換が必要ですからご相談ください。

洗浄剤 type-A
油汚れに

洗浄剤 type-B
ベーシックタイプ

洗浄剤 type-C
艶出しに



1日10枚以上の洗浄

1日10枚以下の洗浄



最初に薄めた洗浄液を作ります。



薄めた洗浄液作らず点滴にします。
片面1滴、両面で2滴を基本にします。

■洗浄液は必ず希釈して使ってください。

軽い汚れでは洗浄液を20倍～100倍と薄めて使ってください。最適な希釈率は、盤面の状況で左右しますので経験値で決めて下さい。濃い目は濯ぎに時間がかかり不経済にもなります。

■ノイズが消えない時は。

盤面の汚れを100%除去してもノイズが消えない時があります。これは目に見えない傷の可能性があります。使用する洗浄剤によって減少させることはできますが、この場合はノイズを100%消すことはできません。

■頑固な汚れは濃い液で。

盤面の汚れが頑固な場合は濃い液で洗浄してください。この場合は徹底的にすすぎを繰り返して下さい。

薄い洗浄液でも繰り返して洗浄効果は上がります。

■レコードの乾燥は。

多量に洗浄する場合はスタンドで立掛けるのが簡単ですが、少ない枚数の場合はドライヤーの送風で素早く乾きます。又はターンテーブルの回転だけで乾きます。但し、バキュームクリーナーを使わないウエットでは乾燥に時間がかかりますので、十分に拭取りが重要です。

■吸い取りが最重要です。

溝の汚れを洗浄剤が剥がしますが拭取りだけでは微細なチリなどは100%除去できません。ノイズが消えない時はバキュームクリーナーしてください。

■音質が変わった時は。

ノイズが消えても音が硬くなる場合があります。逆に音が柔らかくなることも。これはレコードが持っている油性分の増減によるものです。気になる場合はご相談ください。

■どんなことでも困ったら。

104 SOUND

電話03-3616-8868 fax03-3616-8870

メールはinfo@e929.comまでご相談ください。